

人間と生命 (Humanity and Life)

学びの心理学 (Psychology for Learning)

川野 卓二・教授 / 大学開放実践センター

2単位 前期 水 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『人間と生命』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『心理学』)

【授業の目的】 あなたは「大学で学ぶ」方法は、これまでと同じ方法でよいと思いませんか。多くの学生にとって大学は最終学歴になるはずですが、卒業して社会に出て行く前に、卒業後も役に立つ「学ぶ方法」を学んでおくことは大切なことだと思います。この授業では、自分自身の学びを分析し、自分を理解することを通して生涯学習社会における自己の学びについて考えることを目的とします。

【授業の概要】 学習心理学・教育心理学の基本概念を学び、大学での自らの学びにそれらを適用する方法を探ります。心理検査等を利用して、自分自身のラーニングスタイルを理解し、それに基づいた学習方法を実践し、その結果を報告することが求められます。また、他者の学習を援助することを通じて自分自身の学習を促進することも学びます。

【キーワード】 大学での学び、ラーニングスタイル、構成主義的理解

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. 自己のラーニングスタイルが理解ができる。
2. 生涯学習社会を生きるための学習習慣を確立する。
3. 学んだことを分かりやすく他者に伝えることによって学びを定着させる。

【授業の計画】

1. オリエンテーションおよびグループ分け検査
2. 時間管理
3. ラーニングスタイル
4. 学習理論:古典的条件づけ
5. 学習理論:オペラント条件づけ
6. 学習理論:社会的学習理論
7. ノートのとり方
8. テキストの読み方
9. 学習グループ、レポート
10. パソコンの利用
11. インターネット、図書館の利用

12. 課題, テスト, オフィスアワー
13. グループ発表, 全体発表, 発表評価 (1)
14. グループ発表, 全体発表, 発表評価 (2)
15. グループ発表, 全体発表, 発表評価 (3)
16. 全体の評価と解釈, まとめ

【教科書】 世界思想社編集部 (編)(2008)「大学生 学びのハンドブック」世界思想社 1,300 円

【参考書等】 参考書等は、適宜紹介します。

【成績評価の方法】 まとめノート, 学びのルーブリック, グループ発表 (以上, 必須), 課題分析レポート, 発表評価などによって総合的に評価する。

【再試験の有無】 なし

【受講者へのメッセージ】 第 1 回目のオリエンテーションに必ず出席してください。グループ分けをします。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220737>

【連絡先(オフィスアワー・研究室・Eメールアドレス)】

⇒ 川野 (088-656-7282, kawano@cue.tokushima-u.ac.jp) MAIL

Humanity and Life

Psychology for Learning

Takuji Kawano · PROFESSOR / CENTER FOR UNIVERSITY EXTENSION

2 units 前期 水 3・4

(平成 19 年度以前の授業科目:『人間と生命』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前) の授業科目:『心理学』)

Target あなたは「大学で学ぶ」方法は、これまでと同じ方法でよいと思いませんか。多くの学生にとって大学は最終学歴になるはずで、卒業して社会に出て行く前に、卒業後も役に立つ「学ぶ方法」を学んでおくことは大切なことだと思います。この授業では、自分自身の学びを分析し、自分を理解することを通して生涯学習社会における自己の学びについて考えることを目的とします。

Outline 学習心理学・教育心理学の基本概念を学び、大学での自らの学びにそれらを適用する方法を探ります。心理検査等を利用して、自分自身のラーニングスタイルを理解し、それに基づいた学習方法を実践し、その結果を報告することが求められます。また、他者の学習を援助することを通じて自分自身の学習を促進することも学びます。

Keyword 大学での学び, ラーニングスタイル, 構成主義的理解

Fundamental Lecture [先行科目]

Relational Lecture [関連科目]

Goal

1. 自己のラーニングスタイルが理解ができる。
2. 生涯学習社会を生きるための学習習慣を確立する。
3. 学んだことを分かりやすく他者に伝えることによって学びを定着させる。

Schedule

1. オリエンテーションおよびグループ分け検査
2. 時間管理
3. ラーニングスタイル
4. 学習理論:古典的条件づけ
5. 学習理論:オペラント条件づけ
6. 学習理論:社会的学習理論
7. ノートのとり方
8. テキストの読み方
9. 学習グループ, レポート
10. パソコンの利用
11. インターネット, 図書館の利用

12. 課題, テスト, オフィスアワー
13. グループ発表, 全体発表, 発表評価 (1)
14. グループ発表, 全体発表, 発表評価 (2)
15. グループ発表, 全体発表, 発表評価 (3)
16. 全体の評価と解釈, まとめ

Textbook 世界思想社編集部 (編)(2008)「大学生 学びのハンドブック」世界思想社 1,300 円

Reference 参考書等は、適宜紹介します。

Evaluation Criteria まとめノート, 学びのルーブリック, グループ発表 (以上, 必須), 課題分析レポート, 発表評価などによって総合的に評価する。

Re-evaluation なし

Message 第 1 回目のオリエンテーションに必ず出席してください。グループ分けをします。

Contents <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220737>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Kawano (+81-88-656-7282, kawano@cue.tokushima-u.ac.jp) MAIL